

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日
令和7年4月11日

事務事業名		地域商社支援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	新規	事務事業No.	040201001036
						単独/補助	補助		025101
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	ヤマザクラ課
総合計画の施策名		0402	商工業の振興					課長名	
政策名		04	活力ある産業のまちづくり					グループ	ふるさと納税推進室
施策名		02	商工業の振興					担当者名	
手段名		01	①商工業の振興						
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	18	06	00	地域商社支援事業		
法令根拠	桜川市地域商社運営補助金交付要項				事業期間				
					単年度繰返し(令和2年度~)				
					☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>地域経済の活性化を図るため、地元で生産されている農産物・加工品等について、地域でのマーケティングや販路開拓を行う地域商社の運営を支援する。</p> <p>地方創生推進交付金を活用した地域商社運営補助金を交付し、地域商社の自立自走を支援する。</p>	<p>地域商社運営にかかわる補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域商社と連携した事業実施、ふるさと納税にかかわる連携協議 ・補助金交付、必要な費用の支払い ・市事業との連携調整 ・経営健全化方針に沿った助言、支援 ・地域商社への誘客及び地域商社の事業化を視野に地域活性化起業人による料理教室の開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段(担当者の活動内容)	④活動指標(活動量を表す指標)	単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社と連携した事業実施 ・ふるさと納税にかかわる連携協議 ・補助金交付、必要な費用の支払い ・市事業との連携調整 ・経営健全化方針に沿った助言、支援 ・地域活性化起業人による料理教室の開催 	地域商社との打合せ回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	
地域商社設立 市民 地域商社支援 加波山市場	桜川市の人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00	
	加波山市場出品者数	人	77.00	85.00	90.00	95.00	100.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図(この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社の安定した経営を実現し、生産者や事業者利益を還元する ・将来的にふるさと応援寄附事業の充実につなげる 	加波山市場生産者協議会の入会者数	人	90.00	95.00	100.00	105.00	110.00	
	開発自社商品数	品	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量(事業費)の推移		05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	7,500	7,500	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0	0	0
		その他 千円	0	0	0	0	0
		一般財源 千円	14,302	17,535	20,614	20,600	20,600
	事業費計(A) 千円	21,802	25,035	20,614	20,600	20,600	
	正規職員従事人数 人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	

06年度事業費 実績(千円)		07年度事業費 予算(千円)	
10 需用費	1,503	10 需用費	2,076
11 役務費	260	11 役務費	261
12 委託料	237	12 委託料	237
13 使用料及び賃借料	2,435	13 使用料及び賃借料	2,440
18 負担金補助及び交付金	20,600	18 負担金補助及び交付金	15,600
合計		25,035	20,614

(4) 当該年度の実施内容		07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する		地域商社クラセル桜川への支援 地域活性化起業人事業の実施(料理教室等)	地域商社クラセル桜川への支援 地域活性化起業人事業の実施(料理教室等)	地域商社クラセル桜川への支援 地域活性化起業人事業の実施(料理教室等)

事務事業名	地域商社支援事業	事務事業No.	40201001036	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 令和2年度から事務事業に位置付け、地域商社設立準備事業として、地域商社の設立を目標とし、令和3年度からは設立した地域商社の支援事業として事業実施する。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 経営状況が悪く、議会からも厳しい意見が多数ある。出資者の商工会からも経営改善のための指導がある。その反面、地域商社事業に対する住民や関係者からの期待の声もある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2期総合戦略の基本目標①「稼ぐ地域をつくり、しごとをつくる」に位置付け事業推進を図っていくため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域経済の活性化を図るという事業目的から、公共の関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 地域商社が販売力を強化して売り上げ増を図ることで、生産者や事業者への利益還元につながる余地がある。地域商社は、独自の商品開発や新規事業に取り組むことで、地域の活性化に貢献する余地もある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 生産者や事業者への支援がなくなるため、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地域の事業者支援を目的としており、公平・公正な事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 令和3年度は赤字決算と債務超過に陥ったが、令和4年度に運営体制の見直しによる経費削減により、赤字決算は解消した。令和6年度も黒字決算の見込みだが、債務超過の見込みのため、引き続き債務超過の解消が課題である。特に新規事業にチャレンジして新たな収益源を確保することが必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域商社クラセル桜川の職員が課題解決に向けて一つになり、ヤマザクラ課が伴走型の支援を行うことが必要である。また、経費削減を行うのみでなく、新規事業や既存事業の変更にチャレンジし、新たな事業展開を生み出すことが大切である。																										
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		<input checked="" type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---